なみえ創成の「ふるさと創造学」

浪江町立なみえ創成小学校
浪江町立なみえ創成中学校

令和７年度版

「総合的な学習の時間」を中心に、課題やテーマを設定し、情報を集め、整理・分析して考え、まとめて表現する一連の探究的な学習プロセスを多様な人々との連携・協働で行い、未来の創り手となるために必要な資質や能力を育みます。

〔特色１〕　主体的な学びの実現

日常生活や地域社会に目を向けて、子どもたちが自ら課題を発見し、課題解決のために対話を通した探究活動を進めています。

哲学対話

請戸川水生生物観察

〔特色２〕　多様な人々との協働学習

地域の様々な機関や団体との連携を図りながら、体験的活動を積極的に取り入れています。

〔特色３〕　地域のすべてが学びの素材

伝統文化や歴史、自然、くらし、産業、復興まちづくり、福島イノベーションコースト構想など、地域に関わる「もの」「こと」「ひと」のすべてが学びの素材。地域に関わる人びとの思いや考えも対象となります。

海　鴎　祭

ふるさと創造学サミット

〔特色４〕　様々な機会で学習成果を発信

双葉郡ふるさと創造学サミットや文化祭、町のお祭り（十日市祭）、授業参観、学校公開等で地域の皆様や各関係機関に成果を発表しています。

【身につけさせたい資質や能力の育成】

地域の人たちや保護者と連携・協働しながら、「なみえ創成ならでは」の学びを創り上げます。児童生徒の考えを大切にし、多様な人々から知識や技能を学びながら自らの課題を解決します。また、そのためのコミュニケーション能力や主体性・協働性・創造性を伸ばします。